

役場からのお知らせ

【受験料】
初心者5,200円、一部免除者3,600円

【申込み締切日】
受験しようとする試験日の10日前必着

【申請書配布場所】
高知県鳥獣対策課、各地区猟友会

【申請方法】
締め切り日までに、申請書類などを県鳥獣対策課、または高知県猟友会へ提出してください。

問い合わせ先
高知県鳥獣対策課
高知県猟友会
☎088-823-9042
☎088-856-6641

種 類	日 時	会 場
わな猟	9月14日(土)	高知県立大学 池キャンパス (高知市池2751-1)
	11月9日(土)	
	令和2年 1月25日(土)	高知県立ふくし交流プラザ (高知市朝倉戊375-1)
猟銃 第一種 第二種	9月15日(日)	高知県立大学
	11月10日(日)	
	令和2年 1月26日(日)	高知県立ふくし交流プラザ
網猟	11月9日(土)	高知県立大学

※時間は全て午前10時からです。

狩猟免許試験を実施します

シカやイノシシなどの被害にお困りの方をはじめ、多くの方々の受験をお待ちしております。

【試験日程】

町・県民税の公的年金からの特別徴収について

4月1日現在、老齢年金や退職年金などを受けている65歳以上の方で、町・県民税の納税義務者は、町・県民税が公的年金から特別徴収(天引き)されます。

【特別徴収の対象となる税額】
すべての公的年金などに係る所得額に応じた税額が特別徴収の対象となり、老齢基礎年金や老齢年金、退職年金から特別徴収されます。

なお、給与などその他の所得に係る税額は、年金から特別徴収されません。給与所得や事業所得などの金額から計算した町・県民税については、これまでどおり給与から特別徴収または普通徴収(納付書または口座

狩猟免許更新

・本町に住所を有する狩猟免許保持者で、納期限の到来した税金を完納し、更新前3年間において、町長から許可を受け一度でも有害鳥獣の駆除に従事した方

狩猟免許取得

・本町に住所を有する町猟友会加入者で、町内の有害鳥獣捕獲に従事できなおかつ納期限の到来した税金を完納している方

有害鳥獣捕獲の担い手となる狩猟者を確保し、イノシシやシカによる農林作物などの被害を軽減するため、わな猟、銃猟免許の取得経費の一部を補助します。

また、それぞれの免許の更新経費についても「一部補助」します。補助の対象となる方は、次のとおりです。

大豊町消防団(5月1日現在234名)

幹部紹介

団 長…上村 行和
副団長…小笠原徳孝
副団長…桑名 幸英

問い合わせ先
住民課 税務班 上村



第24巻 地域包括支援センター通信

熱中症

今年度は季節に応じて健康づくりや疾病予防に関する情報を中心に伝えたいと思います。

今月の特集は『熱中症』です。

熱中症とは、体がまだ暑さに慣れておらず体温調整がつまづかないことや、外気温の上昇、水分不足などの原因から体に熱がたまって起こる症状のことです。重症化すると死亡することもある怖いものです。

熱中症になりやすい時期

熱中症は例年、梅雨入り前の5月ごろから発生し、梅雨の合間に急激に暑くなった時期や、7月、8月の盛夏にかけて多発する傾向があります。

熱中症による救急搬送状況
(平成30年5月～9月:高知県)

熱中症の予防法

熱中症は予防法を知っていれば防ぐことができます。日常生活における予防は、体の水分不足と体温の上昇を抑えることが基本です。

【日常生活での注意事項】

- ◆暑さを避ける
 - ・行動の工夫(適宜休憩する、無理をしない、暑い日や時間を避けて外出するなど)
 - ・住まいの工夫(カーテンなどで日光を遮る、我慢せずに冷房や扇風機を利用するなど)
 - ・衣服の工夫(日傘や帽子の使用、襟元をゆるめて通気するなど)
- ◆こまめな水分補給
 - ・畑仕事や出かける際には水分を持参しましょう。
- ◆暑さに備えた体づくり

脱水予防とアルコール

私たちは、軽い脱水状態のときにはのどの渇きを感じません。そこで、のどが渇く前から水分を補給しておくことが大切です。暑い場所に行く時にも水分を補給しましょう。

なお、どのような種類のお酒であっても、アルコール

熱中症の危険信号

高い体温、まったく汗をかかない、触るととても熱い、スキンズキンとする頭痛、めまい、吐き気、意識の障害

熱中症は早めの対応が大切です(熱中症への対応)

熱中症の初期にみられる、立ちくらみや筋肉のこむら返りといった症状があれば、すぐに涼しい場所へ移動し、体を冷やすこと、水分を補給することが重要です。

大量に汗をかいた場合には、汗で失われた塩分も適切に補える経口補水液(※ヤスポードリンクなどが最適です。食塩水(水1ℓに1～2gの食塩)も有効です。

※体内で失われた水分や塩分などを速やかに補給できるように成分を調整した飲料

熱中症は尿の量を増やし体内の水分を排泄してしまいます。汗で失われた水分をビールなどで補給しようとするのは誤りです。いったん吸収した水分も、それ以上の水分とともに、尿で失われてしまいます。

大量に汗をかいた場合には、翌日までに十分な水分摂取が必要です。なお、入浴時、睡眠時も汗をかいているので、入浴前後や起床時は水分をとる必要があります。